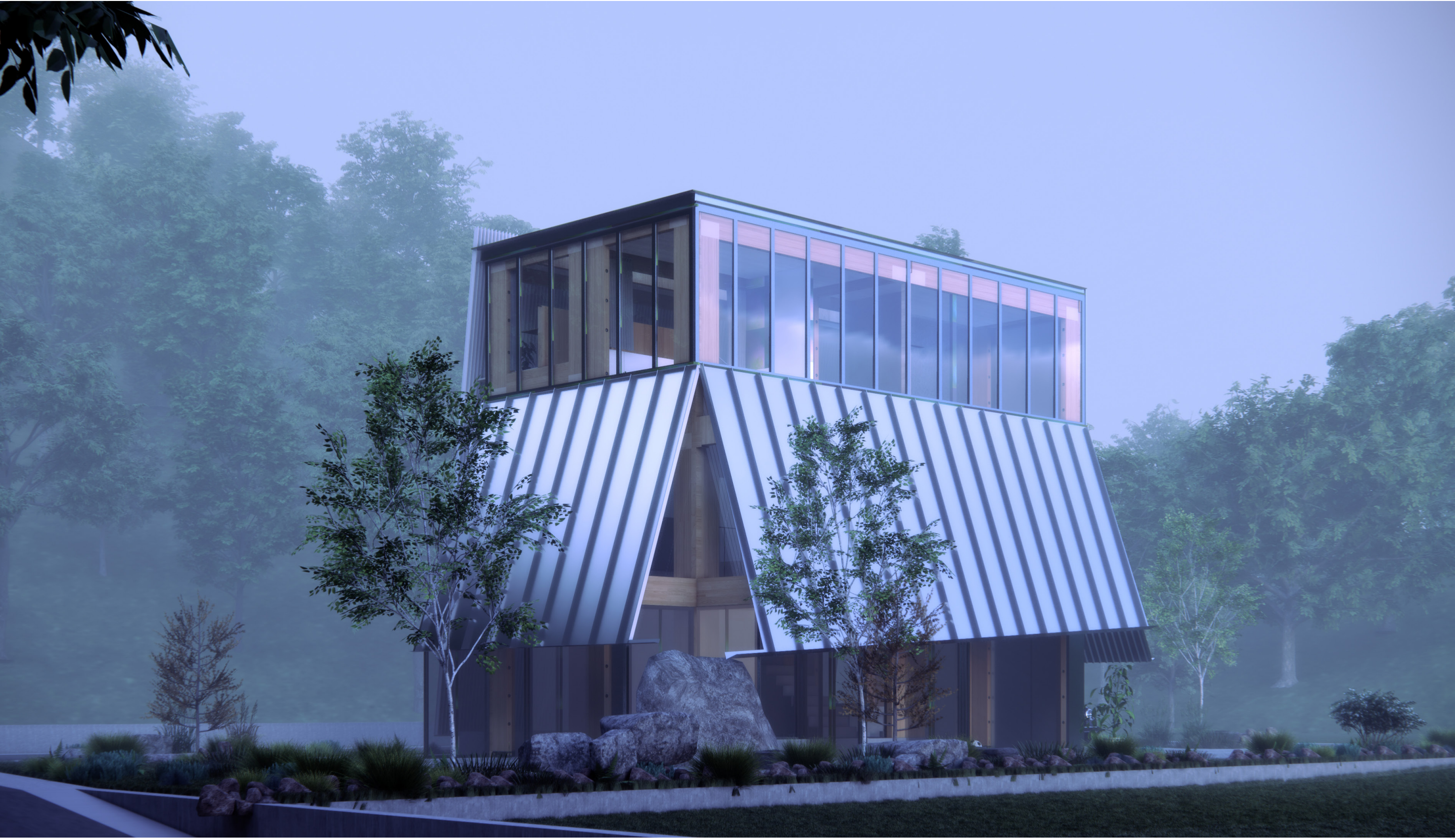




MINKA +

SETOUCHI INTERNATIONAL
ARCHITECTURAL DESIGN COMPETITION 2025
FREEDOM from GRAVITY

AREA CHART
敷地番号 : 20号地
敷地面積 : 350.36㎡
容積率 : 175.15㎡ (50%)
建築率 : 105.10㎡ (30%)
建築面積 : 83.52㎡
延床面積 : 130.25㎡
最高高さ : 7.995m

01. 民家・重力から自由な木造形式
民家のような、大きく、ひらかれた家をつくる。
吹き抜けを支える大きな梁と柱、使い勝手のよい田の字プランと土間空間、ダイナミックでフレキシブルな民家の構法は、重力から解き放たれた木造住宅の未来のかたちかもしれない。耐震フレームと軸組工法、伝統と先端技術の融合によって、「古くて新しい」現代の民家を提案する。
02. 田の字×十字柱
軸組工法による細かな柱割に、袖壁状の耐震フレームを組み合わせ、十字型の構造柱を構成。これにより、民家のような大らかなモジュールを持つ空間が生まれる。
田の字に編成されたスキャップアは、部屋間土をゆるやかにつなぎ、かつての民家がそうであったように、住人のさまざまな活動と暮らしの変化を受け止める。
03. 敷地条件/十字型の勾配屋根とプライバシー
ハットのようにふわりと十字型に展開する勾配屋根はプライバシーと開放性を両立する。
四方の隣地からの視線を遮りながら、斜め方向のスリット状の開口によって、採光と眺望を確保する。
04. 明るい土間
半透明の開口で囲まれた土間空間は、光を取り込みつつ視線をやわらかく遮る。開け放つと最大4.3mの大開口となり、外と内を自在につなげる。簡易な水回りと机を備え、オフィスや作業場、ジム、ヨガなど、アクティビティの場として多用途に利用できる。
05. 構造
長辺4.6m × 短辺2.3mの構造グリッド。その交点に105角柱と耐震フレームによる袖壁を配置することで、RC造に匹敵するスパンを持つ、開放的な木造架構を実現する。

